

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年5月6日(2021.5.6)

【公開番号】特開2018-191992(P2018-191992A)

【公開日】平成30年12月6日(2018.12.6)

【年通号数】公開・登録公報2018-047

【出願番号】特願2017-98276(P2017-98276)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年3月29日(2021.3.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の始動条件の成立を契機として始動情報を取得する取得手段と、  
前記取得手段により取得される前記始動情報を記憶する記憶手段と、  
前記取得手段により取得された前記始動情報に基づいて判定を行う判定手段と、  
前記判定手段による判定結果に基づいて画像表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実行手段と、を備え、

前記動的表示実行手段により実行される前記識別情報の動的表示において、所定の識別情報である特別識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与可能な遊技機において、

前記動的表示実行手段は、

前記動的表示の停止時に表示する停止結果表示として、前記特別識別情報又は該特別時期別情報とは異なる一般識別情報を表示可能な停止表示手段と、

前記画像表示手段において、互いに所定の関連性を有して表示される複数の標示手段と、

前記判定手段による判定結果に基づいて、前記標示手段の表示態様を、所定の第1態様で表示可能な第1態様表示手段と、

前記標示手段を前記第1態様と異なる第2態様で表示されるよう設定する場合に、複数の前記標示手段の表示態様が前記第2態様で表示されるように設定可能な複数設定手段と、

前記標示手段を表示した後、所定期間後に該標示手段を消去する標示消去手段と、  
前記記憶手段に記憶されている前記始動情報に対応する絵柄を表示する記憶絵柄表示手段と、

前記記憶手段に記憶された前記始動情報に基づいて、前記記憶絵柄表示手段により表示される前記絵柄の表示態様を、所定の第1絵柄態様から、該第1絵柄態様と異なる第2絵柄態様に変化可能な絵柄態様変化手段と、

前記動的表示において、所定期間の特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、

前記動的表示の開始時に、前記絵柄を表示状態にする表示状態手段と、

前記特定演出実行手段による前記特定演出が実行される場合に、前記表示状態手段によ

って表示状態とされている前記絵柄を、非表示状態に切り替える非表示状態手段と、少なくとも、前記特定演出実行手段による前記特定演出の終了後、前記非表示状態手段によって非表示状態とされている前記絵柄を、再び表示状態に切り替える再表示状態手段と、

前記複数設定手段により前記標示手段の表示態様が前記第2態様に変更されて表示された後に前記停止表示結果として前記一般識別情報が表示される場合に、前記特定演出実行手段による前記特定演出の実行後に表示する前記標示手段を、前記第1態様で表示する第1態様表示手段と、を備えていることを特徴とする遊技機。

#### 【請求項2】

前記始動情報は、  
複数種類の判定情報を含む情報をあることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

#### 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、所定の始動条件の成立を契機として始動情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得される前記始動情報を記憶する記憶手段と、前記取得手段により取得された前記始動情報に基づいて判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて画像表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実行手段と、を備え、前記動的表示実行手段により実行される前記識別情報の動的表示において、所定の識別情報である特別識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与可能な遊技機であって、前記動的表示実行手段は、前記動的表示の停止時に表示する停止結果表示として、前記特別識別情報又は該特別時期別情報とは異なる一般識別情報を表示可能な停止表示手段と、前記画像表示手段において、互いに所定の関連性を有して表示される複数の標示手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて、前記標示手段の表示態様を、所定の第1態様で表示可能な第1態様表示手段と、前記標示手段を前記第1態様と異なる第2態様で表示されるよう設定する場合に、複数の前記標示手段の表示態様が前記第2態様で表示されるように設定可能な複数設定手段と、前記標示手段を表示した後、所定期間後に該標示手段を消去する標示消去手段と、前記記憶手段に記憶されている前記始動情報に対応する絵柄を表示する記憶絵柄表示手段と、前記記憶手段に記憶された前記始動情報に基づいて、前記記憶絵柄表示手段により表示される前記絵柄の表示態様を、所定の第1絵柄態様から、該第1絵柄態様と異なる第2絵柄態様に変化可能な絵柄態様変化手段と、前記動的表示において、所定期間の特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、前記動的表示の開始時に、前記絵柄を表示状態にする表示状態手段と、前記特定演出実行手段による前記特定演出が実行される場合に、前記表示状態手段によって表示状態とされている前記絵柄を、非表示状態に切り替える非表示状態手段と、少なくとも、前記特定演出実行手段による前記特定演出の終了後、前記非表示状態手段によって非表示状態とされている前記絵柄を、再び表示状態に切り替える再表示状態手段と、前記複数設定手段により前記標示手段の表示態様が前記第2態様に変更されて表示された後に前記停止表示結果として前記一般識別情報が表示される場合に、前記特定演出実行手段による前記特定演出の実行後に表示する前記標示手段を、前記第1態様で表示する第1態様表示手段と、を備えている。

#### 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の遊技機によれば、所定の始動条件の成立を契機として始動情報を取得する取得手段と、前記取得手段により取得される前記始動情報を記憶する記憶手段と、前記取得手段により取得された前記始動情報に基づいて判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて画像表示手段に識別情報の動的表示を実行させる動的表示実行手段と、を備え、前記動的表示実行手段により実行される前記識別情報の動的表示において、所定の識別情報である特別識別情報が現出された場合に、遊技者に所定の遊技価値を付与可能な遊技機であって、前記動的表示実行手段は、前記動的表示の停止時に表示する停止結果表示として、前記特別識別情報又は該特別時期別情報とは異なる一般識別情報を表示可能な停止表示手段と、前記画像表示手段において、互いに所定の関連性を有して表示される複数の標示手段と、前記判定手段による判定結果に基づいて、前記標示手段の表示態様を、所定の第1態様で表示可能な第1態様表示手段と、前記標示手段を前記第1態様と異なる第2態様で表示されるよう設定する場合に、複数の前記標示手段の表示態様が前記第2態様で表示されるように設定可能な複数設定手段と、前記標示手段を表示した後、所定期間後に該標示手段を消去する標示消去手段と、前記記憶手段に記憶されている前記始動情報に対応する絵柄を表示する記憶絵柄表示手段と、前記記憶手段に記憶された前記始動情報に基づいて、前記記憶絵柄表示手段により表示される前記絵柄の表示態様を、所定の第1絵柄態様から、該第1絵柄態様と異なる第2絵柄態様に変化可能な絵柄態様変化手段と、前記動的表示において、所定期間の特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、前記動的表示の開始時に、前記絵柄を表示状態にする表示状態手段と、前記特定演出実行手段による前記特定演出が実行される場合に、前記表示状態手段によって表示状態とされている前記絵柄を、非表示状態に切り替える非表示状態手段と、少なくとも、前記特定演出実行手段による前記特定演出の終了後、前記非表示状態手段によって非表示状態とされている前記絵柄を、再び表示状態に切り替える再表示状態手段と、前記複数設定手段により前記標示手段の表示態様が前記第2態様に変更されて表示された後に前記停止表示結果として前記一般識別情報が表示される場合に、前記特定演出実行手段による前記特定演出の実行後に表示する前記標示手段を、前記第1態様で表示する第1態様表示手段と、を備えている。これにより、遊技者が不信感を感じることがない快適な遊技を提供することができる、という効果がある。